

図研エルミック株式会社

決算説明資料

(東証スタンダード：コード 4770)



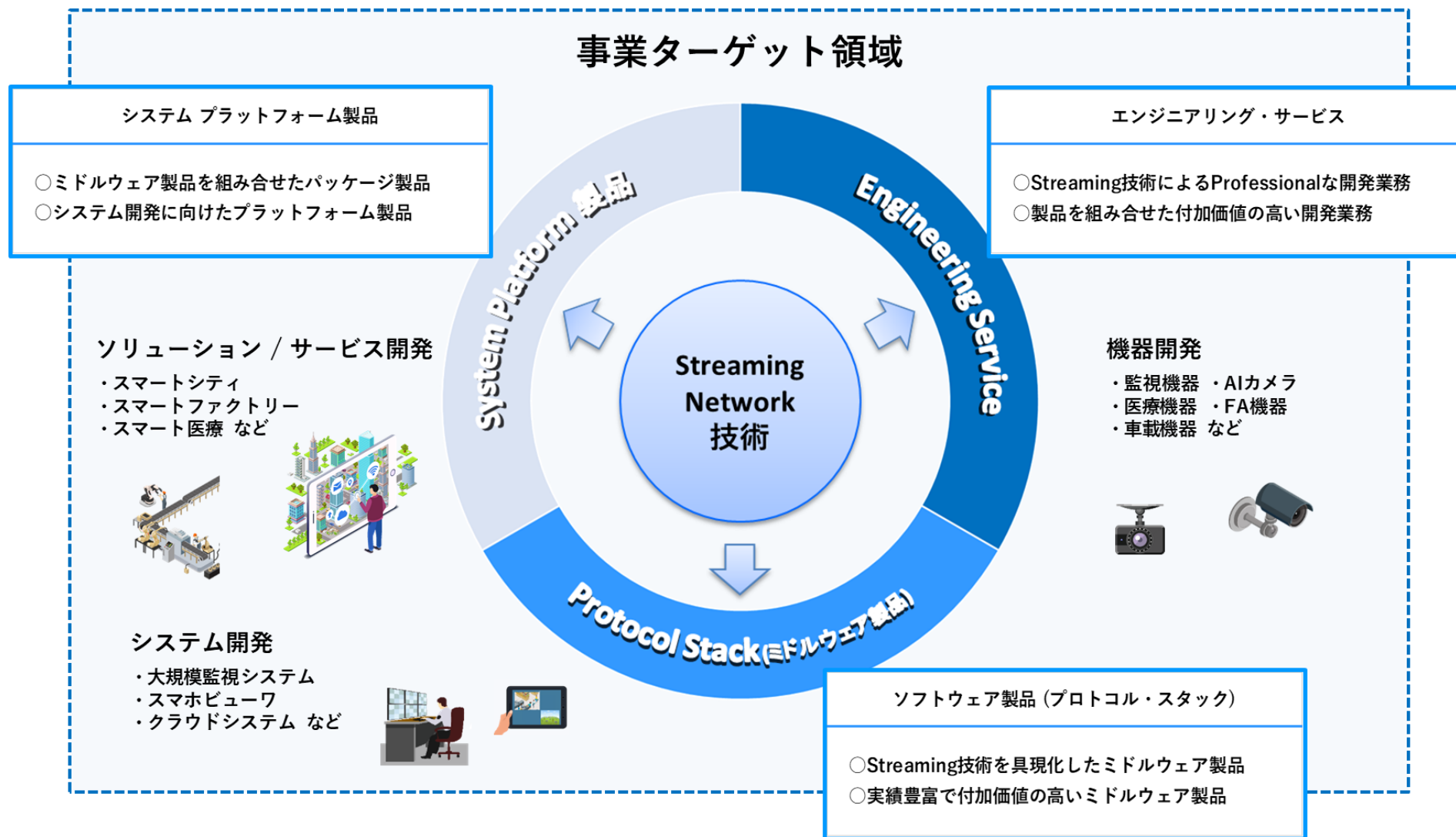
- Engineering Service
- Protocol Stack (Middleware)
- System Platform

2022年5月25日

代表取締役社長 朝倉 尉

Streaming Engineering Service

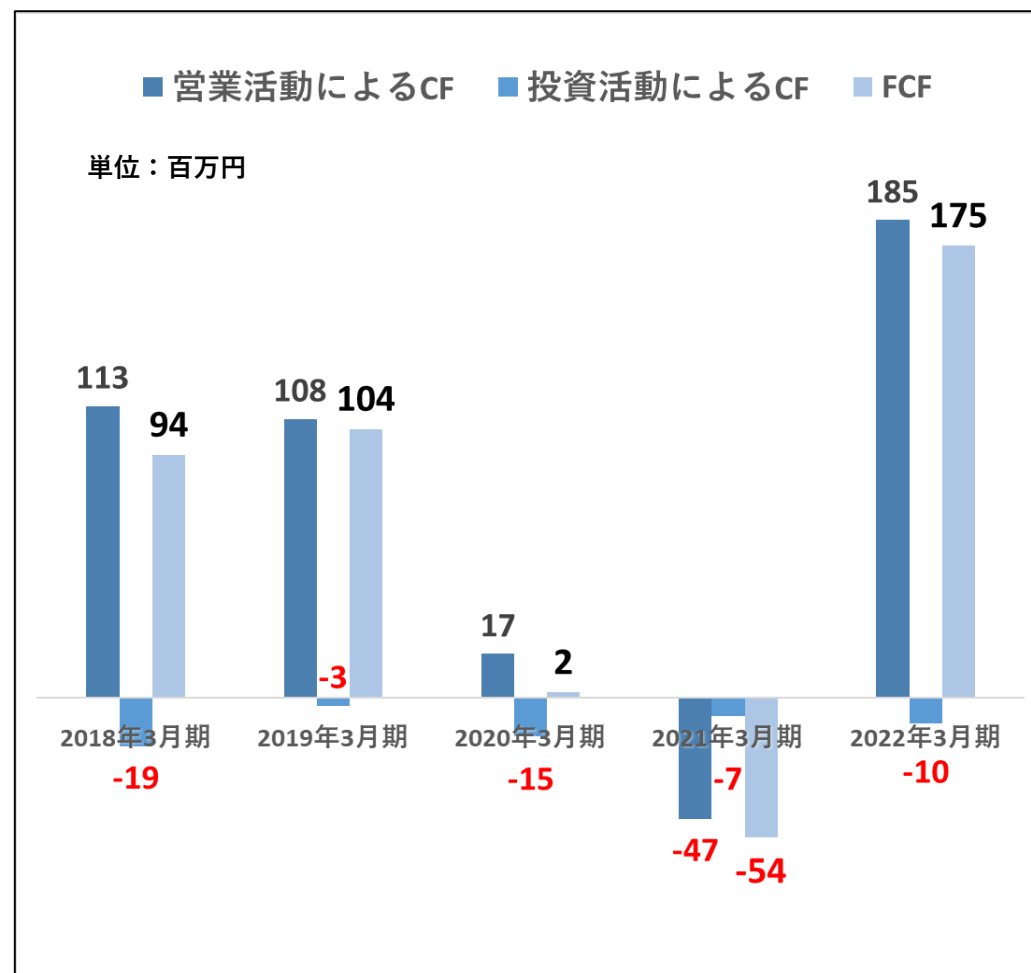
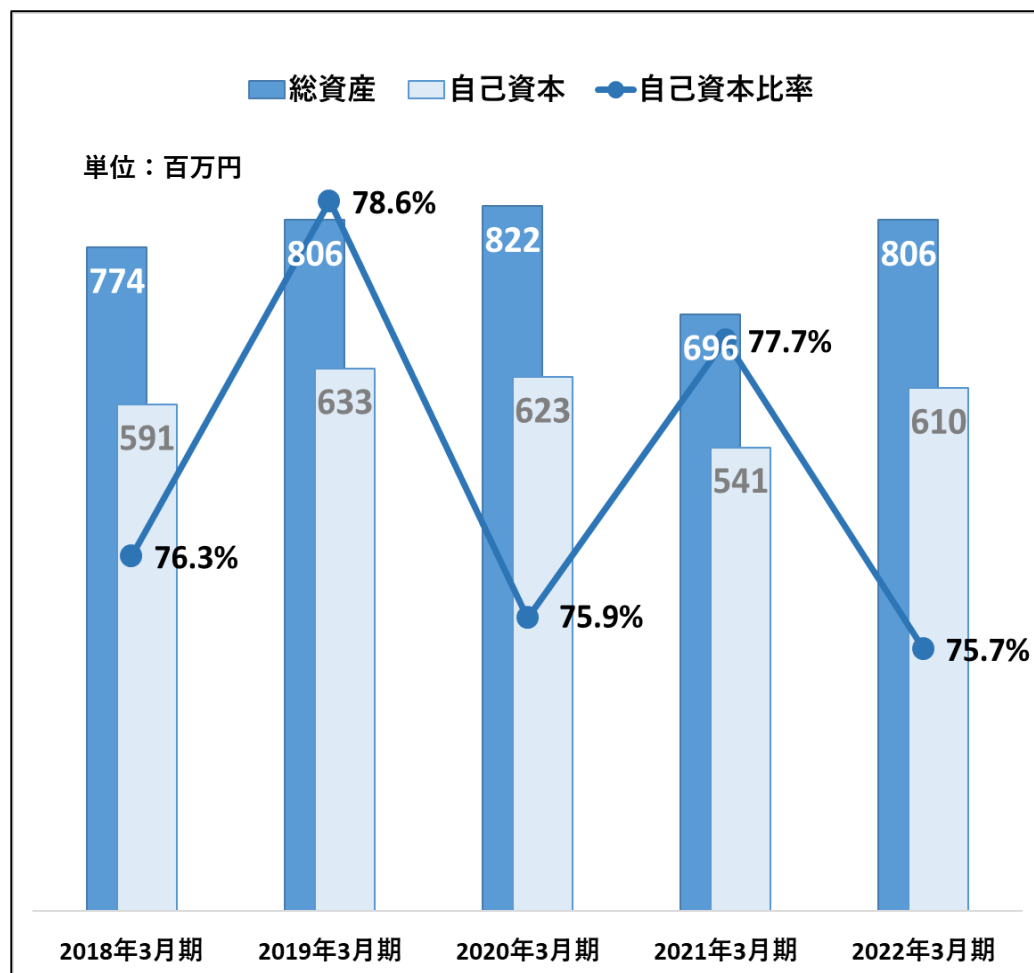
コアコンピタンスであるStreaming Network技術を、Engineering Service(開発業務)、Streaming製品として提供し、お客様の製品開発に欠かせないパートナーとして、お客様と一体となった開発業務を担っています。



2022年3月期 決算概要

2022年3月期 (単位：百万円)	上半期		下半期		通期	
		前年同期 増減		前年同期 増減		前年同期 増減
売上高	342	+98	459	+85	801	+184
売上総利益	153	+49	229	+47	382	+97
販管費	144	▲60	146	+3	290	▲57
営業利益	9	+110	82	+43	91	+154
経常利益	9	+101	77	+35	86	+136
当期純利益	5	+117	63	+34	69	+151

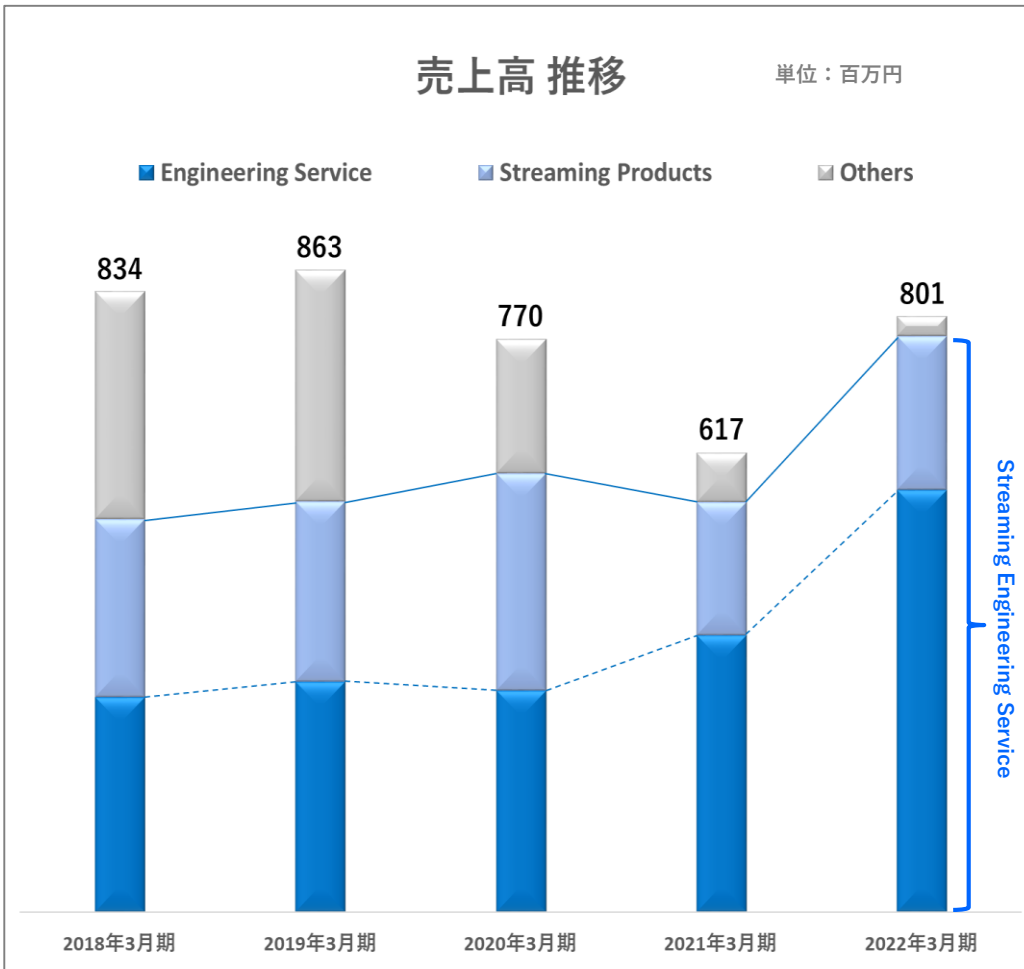
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けた前事業年度から力強く回復し、大幅な増収増益。
- Engineering Service(開発業務)とStreaming製品を組み合わせた、付加価値の高いソリューション提案に注力した結果、数多くの受注獲得を実現し、売上高が前年同期比 約30%増加。
- 売上高の増加に加え、主力であるEngineering Service(開発業務)におけるプロジェクトマネジメントの強化により受注案件の開発原価の低減を実現したことや、経費削減等により、前事業年度の損失計上から大幅に回復し、期初予想を上回る利益を計上。



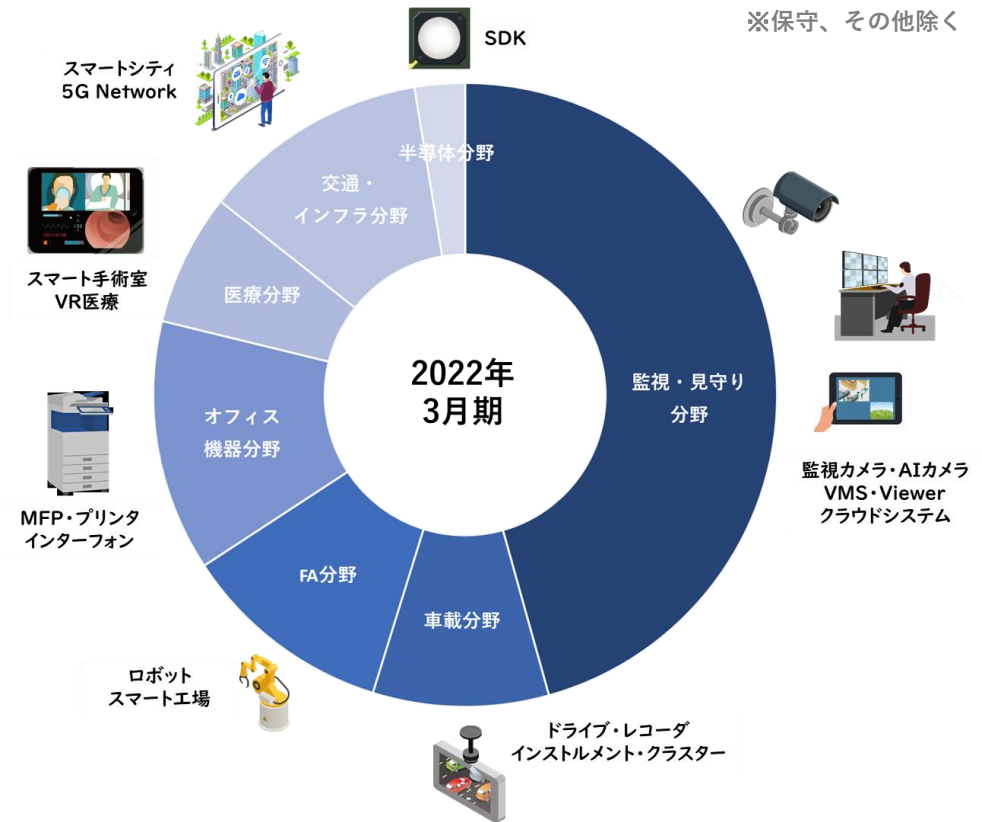
- 現金および預金 1億70百万円増加、売掛金 46百万円減少、前払費用 20百万円減少等により流動資産は1億7百万円増加し、工具、器具及び備品 7百万円増加、電話加入権 5百万円減少等により固定資産は1百万円増加したため、資産合計は8億6百万円（前年同期比 1億9百万円増加）となりました。
- 利益剰余金 69百万円増加により純資産合計は6億10百万円となり、自己資本比率は75.7%となりました。
- 税引前当期純利益 86百万円の計上、売上債権 41百万円減少等により営業活動の結果得られた資金は1億85百万円となりました。またフリーキャッシュフローは175百万円のプラスとなりました。

売上高 推移

単位：百万円

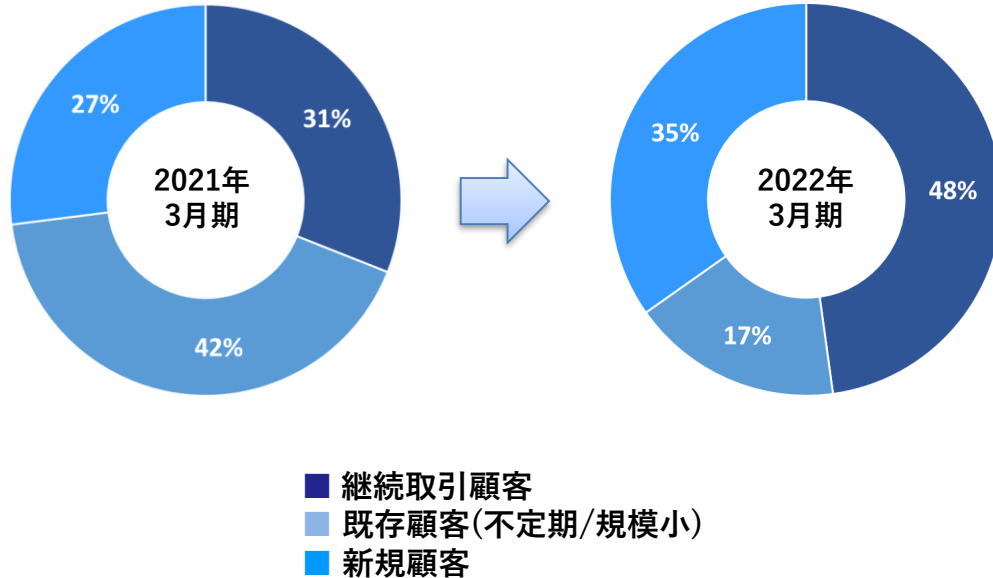


顧客分野別 売上割合



- Streaming技術に集中した事業活動の結果、売上構成がほぼStreaming Engineering Serviceとなり、Engineering Service(開発業務)は前年同期比 約50%増、Streaming製品は前年同期比 約15%増と伸長し、売上高が8億円を回復。
- 5G普及やDX加速を背景に、様々な機器・システムでのStreaming技術の需要が高まり、当社顧客層も主要な監視・見守り分野に加え、特に車載分野・FA分野・医療分野・交通/インフラ分野からの受注獲得が増加。Streaming技術に対する需要は、今後も幅広い分野で拡大する見通し。

Engineering Service
取引状況別 顧客数割合



FA Finder パートナー連携

Elmic
ニュースリリース

2021年 11月 10日
国研エルミック株式会社

国研エルミックのFA/映像連携プラットフォームがB-EN-Gのモニタリングシステムと連携
～製造現場の稼働情報に映像を紐づけることで状況の把握、分析精度を向上～

国研エルミック株式会社(本社:神奈川県横浜市、以下 国研エルミック)が提供するFA/映像連携プラットフォーム「FA Finder」が、ビジネスエンジニアリング株式会社(以下 B-EN-G)が開発および提供する、製造設備の稼働・製造モニタリングシステム「mcfame SIGNAL CHAIN」との連携を実現しました。mcfame SIGNAL CHAINが収集した設備稼働情報と映像情報を紐づけ、mcfame SIGNAL CHAINの操作画面上から即座に保存した映像を再生できます。この情報連携により、異常発生時の前後の状態や原因を映像からも特定、分析する事が可能になりました(図)。

連携のメリット
mcfame SIGNAL CHAINは、製造現場の設備稼働情報、センサーデータ、ヒトの作業情報など、属性や項目数が違うデータを同じ時間軸・同一画面上で可視化しますが、そこに映像情報が加わり、簡単に呼び出して同期再生することで、“その時”の状況をデータと映像の両面から確認できます。異常時の正確な要因分析を可能にし、工程の改善や予防検知につなげます。

FA Finder X mcfame SIGNAL CHAIN 連携のデモが、2021年 11月 24日から 28日まで東京ビッグサイトで開催される「生産システム見える化展」内のB-EN-Gブースにて展示されます。

以上

Elmic
ニュースリリース

2022年 5月 17日
国研エルミック株式会社

映像連携プラットフォーム「FA Finder」にAI映像解析を追加
製造現場で異常の原因解析、予知保全、自動制御を1本化しDXを推進

国研エルミック株式会社(本社:神奈川県横浜市、以下 国研エルミック)は、本日、工場の監視カメラや高速カメラとFA 機器、センサー、IoTツールなどのデータ連携、相互制御を実現する、映像連携プラットフォーム「FA Finder」のAI映像解析オプションをリリースしました。専門知識がなくても、AI映像解析を活用して、製造ライン異常の効率的な原因探索、設備の予知保全(1)、製造工程の自動制御までをFA Finderで1本化して実現可能となり、生産効率の向上、省人化に貢献します。また、ユーザーがAI映像解析に熟知する必要がなく、映像解析・予知保全・自動制御を1本化する本オプションを提供することで、今までスマートファクトリーへの取り組みが難しかった企業でも利用しやすいシステムになりました。

特長1: 専門知識が不要な、製造現場ですぐに使えるAIを提供
一般にAIは、個々の目的に合わせた事前学習が必須で、学習用データ取得の困難さと人的リソースの不足が、製造現場へのAI導入を躊躇させる大きな理由の1つになっています。FA Finder AI映像解析オプションでは、国研エルミックが、ユーザーの製造現場で撮られたカメラ映像を学習用データとして活用し、ユーザーに代わって学習済みモデル(4)を準備することで、AI映像解析導入の障壁を下げることを目指しています(図1)。また、AI映像解析の実用性に不安を感じているユーザー向けには、無償の事前確認サポートを提供します。

図1 AI映像解析導入フロー

特長2: 異常の原因探索、予知保全、自動制御を1本化
FA Finder AI映像解析オプションは、製造現場のカメラ映像をAI解析し、解析結果をIoTツール(4)やPLC(4)と連携させる機能があります。AI映像解析とIoTツールの連携で、解析結果と製造情報を併用し、詳細な異常原因の探索や「異常の兆し」をとらえることが可能です。さらに解析結果とPLC等の制御装置との連携で、例えば、異常や異常の兆しに応じて、ロボットアーム等の自動制御も可能になります。つまり、カメラ映像を

- Engineering Service(開発業務)において、一定規模の取引が複数年継続して見込める「継続取引顧客」の拡大に、集中的に取り組んだ結果、継続取引が見込める顧客数が約50%となり、継続的で安定した収益基盤の確立が着実に進行。
- システム・プラットフォーム製品である「FA Finder」とパートナー製品との連携ソリューションの拡充に取り組み、ソリューション開発企業(Sier等)やエンドユーザ(工場等)などの新たな顧客層獲得に向けた活動を積極的に推進。

2023年3月期 計画

- **売上高の増加**

Engineering Service(開発業務)を軸に、着実な売上高の増加を計画

- **継続的な事業拡大への投資**

Engineering Service拡大に向け、エンジニア増員を計画

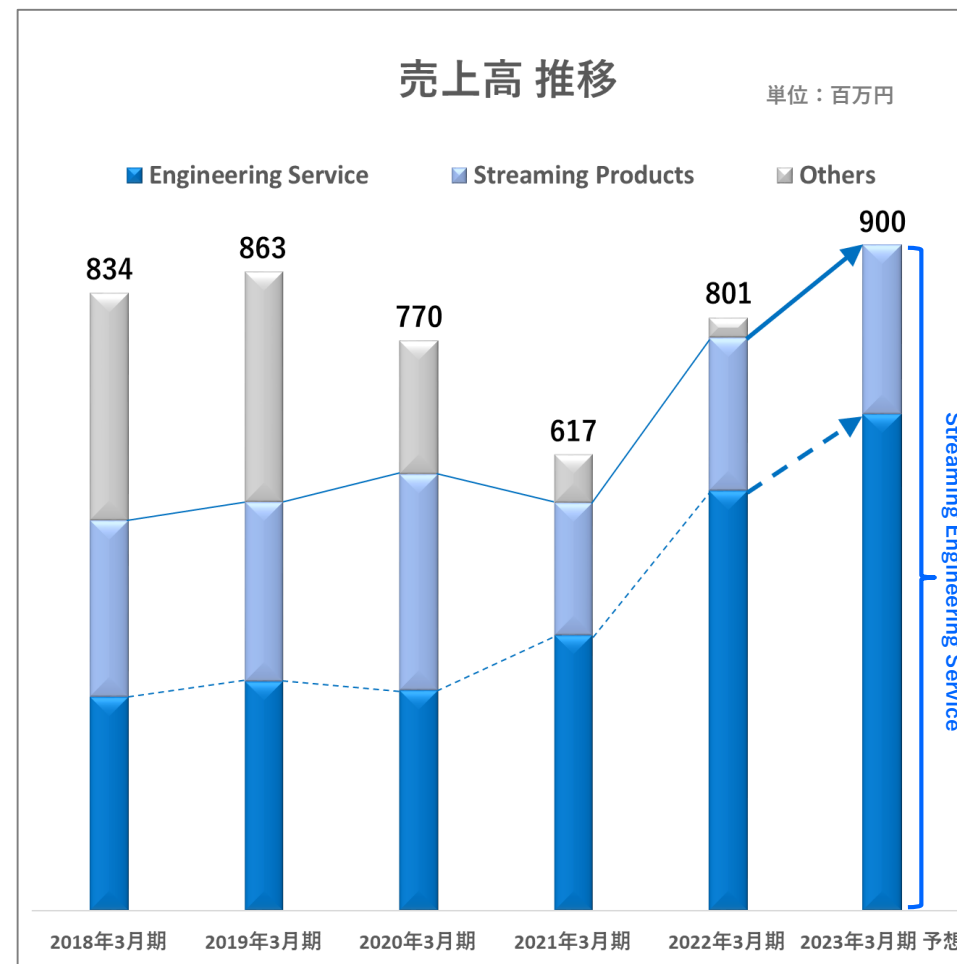
技術力向上・技術領域拡大に向け、エンジニア育成の強化を計画

Streaming技術に関連する新製品開発を計画

- **繰越欠損金の解消**

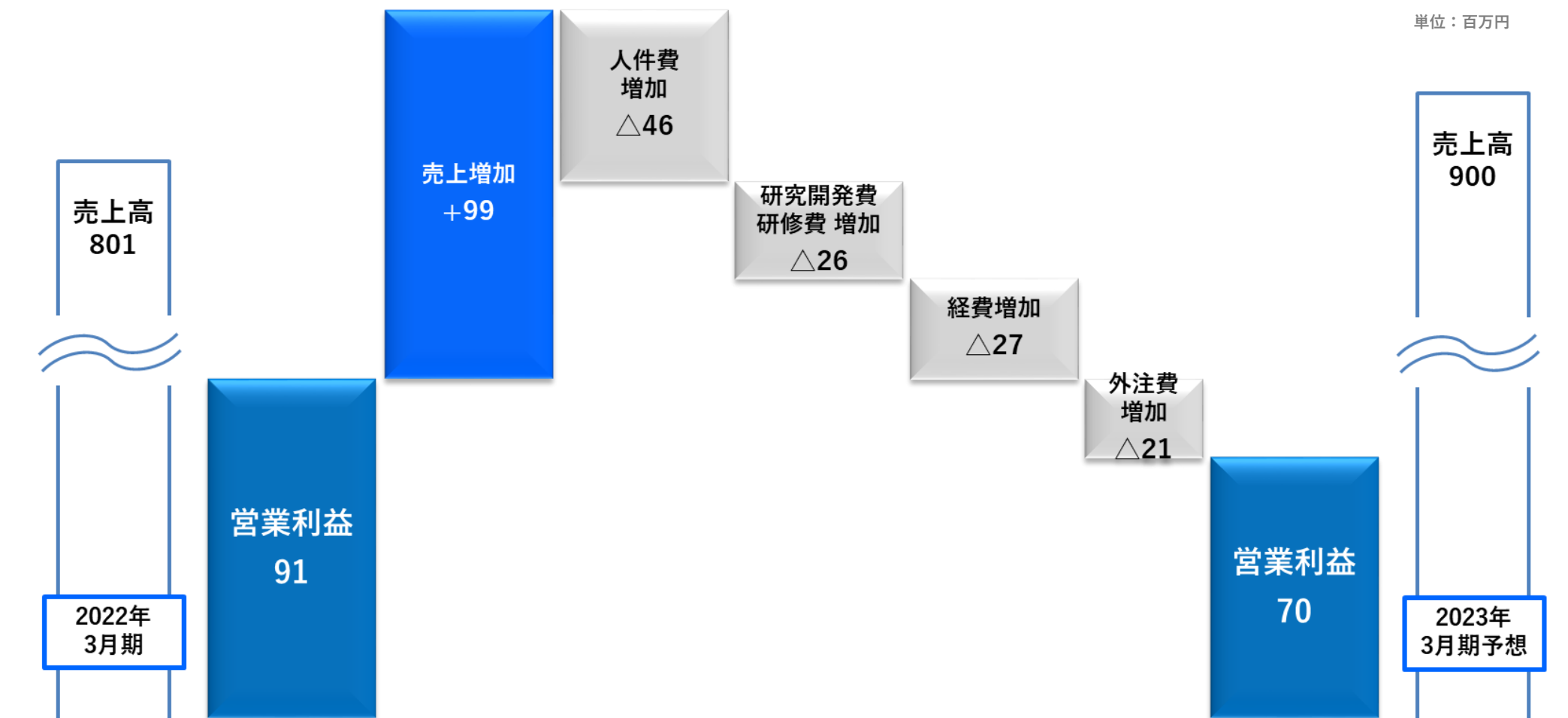
繰越欠損金(25百万円)の着実な解消を計画

単位：百万円	2022年3月期 実績	2023年3月期	
		予想	増減
売上高	801	900	+99
営業利益	91	70	▲21
経常利益	86	70	▲16
当期純利益	69	55	▲14



- Streaming技術に集中した事業活動を継続し、約1億円の増収を予想。Engineering Service(開発業務)は前年同期比 約20%増、Streaming製品は前年同期比 約10%増を計画。
- Streaming Engineering Serviceの継続的な事業拡大を実現するため、エンジニアの増員、エンジニアの技術力向上・技術領域拡大に向けた教育研修の強化、新たな需要獲得に向けた新製品開発への投資により、前年同期比 約20%の減益を予想。
- 事業拡大に向けた投資により減益を見込むが、前事業年度末の繰越欠損金25百万円の着実な解消を予想。

単位：百万円



- 撤退製品の売上高が減少するも、Engineering Service(開発業務)売上高 前年同期比 約20%増、Streaming製品売上高 前年同期比 約10%増を見込み、約1億円の売上高増加を予想。
- Engineering Service(開発業務)拡大に向けたエンジニア増員(人件費 46百万円増)、新製品開発およびエンジニア育成強化への投資(研究開発費・研修費 26百万円増)を計画。
- 「withコロナ」における営業活動、販促活動の活性化による経費増(27百万円)、Engineering Service(開発業務)の拡大に伴う外注費増(21百万円)を予想。

Streaming Engineering Serviceを 強力に推進し、事業の成長を図る。

重点課題：

安定した収益基盤の確立、継続的な事業拡大に向け、以下の重点課題への取り組みを計画。

■ 売上高の増加

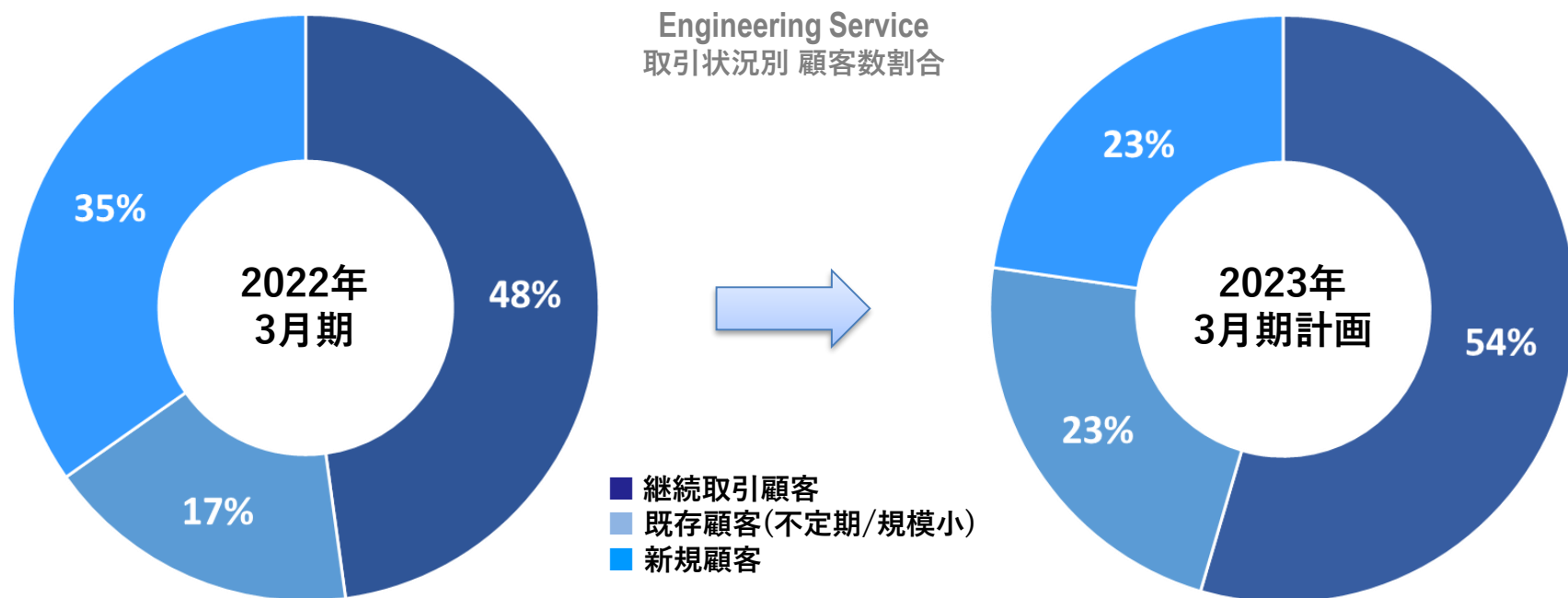
安定的な継続取引が期待できる Engineering Service(開発業務)の規模拡大に向け、一定規模の取引が複数年継続して見込める「継続取引顧客」の拡大を強力に推進。これにより、着実に継続的な売上高の増加に取り組む。

■ 顧客の拡大

5G等の高速・大容量通信におけるボトルネックを解決する「低遅延ストリーミング・ソリューション」の製品開発を推進し、既存顧客への深耕、新規顧客獲得に取り組む。また、システム・プラットフォーム製品とパートナー製品との連携ソリューションを強化し、ソリューション開発企業・サービス提供企業など、顧客層拡大に取り組む。これらStreaming製品の提供を通じ、Engineering Service需要の創出も推進。

■ 継続取引顧客の拡大

Engineering Service(開発業務)の規模拡大に向け、一定規模の取引が複数年継続して見込める「継続取引顧客」の拡大を推進し、継続的な売上高の増加と安定した収益基盤の確立に取り組む。



● 既存顧客の深耕

既存顧客および昨年度獲得した新規顧客に対し、当社開発担当範囲の拡大・新技術の提案を積極的に行い、取引規模の拡大と継続的な取引を実現し、「継続取引顧客」の割合を50%以上へ拡大する計画。

● 新規顧客の獲得

インサイドセールスによる、過去の見込顧客や一定期間取引のない休眠顧客からの案件創出を推進。オンライン展示会出展、ウェビナー開催、PR活動強化などにより新規顧客獲得を推進。

■ ソフトウェア製品 (プロトコル・スタック)

既存製品の競争力維持・強化に向けた①市場トレンド対応(脆弱性対策、品質エビデンス強化)および②規格追従による製品ラインナップ拡充に加え、新たなソリューション製品の開発を加速し、Streaming技術のリーディングカンパニーとしての企業価値向上に取り組む。

「低遅延ストリーミング・ソリューション」

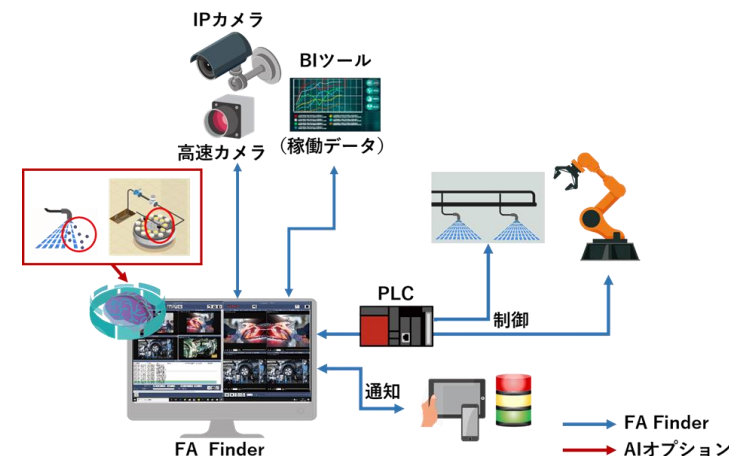
環境：4K/8Kの放送サービスが推進され、5G/L5Gなど高速・大容量ネットワークの普及も加速。

課題：高速・大容量ネットワークを構成するエッジデバイス、中継機、サーバなどの機器における処理が従来のアーキテクチャやオープンソースの利用では、ボトルネックとなる可能性が高い。

当社が培ってきたStreaming技術を基に、高速・大容量のネットワーク環境におけるボトルネックを解消し、実用的な機器/システムの開発、並びにネットワーク全体の最適化を実現する、「低遅延ストリーミング・ソリューション」の開発を計画。

■ システム・プラットフォーム製品

映像連携プラットフォーム「FA Finder」とパートナー製品(BIツール、AI、モニタリングシステム、制御機器など)との連携ソリューションを拡充し、ソリューション開発企業(Sier等)、エンドユーザ(工場等)など、新しい顧客層の獲得に取り組む。



FA Finder AI映像解析オプションによる予知保全と自動制御の例

— ご注意 —

本資料には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。

お問い合わせ先

図研エルミック株式会社 管理本部 IR担当

URL : <https://www.elwsc.co.jp>

E-mail : ir@elwsc.co.jp

Phone : 045-624-8111

※本資料の内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。

会社紹介

(ご参考)

図研エルミック株式会社 会社紹介

Streaming
Engineering
Company

● 会社概要

社名	図研エルミック株式会社
設立	1977年4月30日
資本金	500,000,000円（2022年3月31日現在）
従業員数	49名（2022年3月31日現在）
事業内容	ミドルウェア製品・システム製品の開発販売および エンジニアリング・サービスの提供
事業所 株式	横浜本社（横浜市港北区新横浜3-1-1 図研新横浜ビル） 東証スタンダード上場

役員	代表取締役社長	朝倉 尉
	取締役(開発本部長)	藤井 孝博
	取締役(営業本部長)	赤田 正樹
	取締役(管理本部長)	高橋 雄一郎
	取締役(常勤監査等委員)	高橋 慶（社外取締役）
	取締役(監査等委員)	安藤 和男（社外取締役）
	取締役(監査等委員)	本間 政司（社外取締役）

関連会社 (日本国内)	株式会社図研 図研テック株式会社 図研ネットウエイブ株式会社 株式会社図研プリサイト 図研アルファテック株式会社 株式会社ダイバーシク 図研モデリンクス株式会社
----------------	--

加盟団体	IPv6 Ready Logo Program ECHONETコンソーシアム ONVIF
------	--

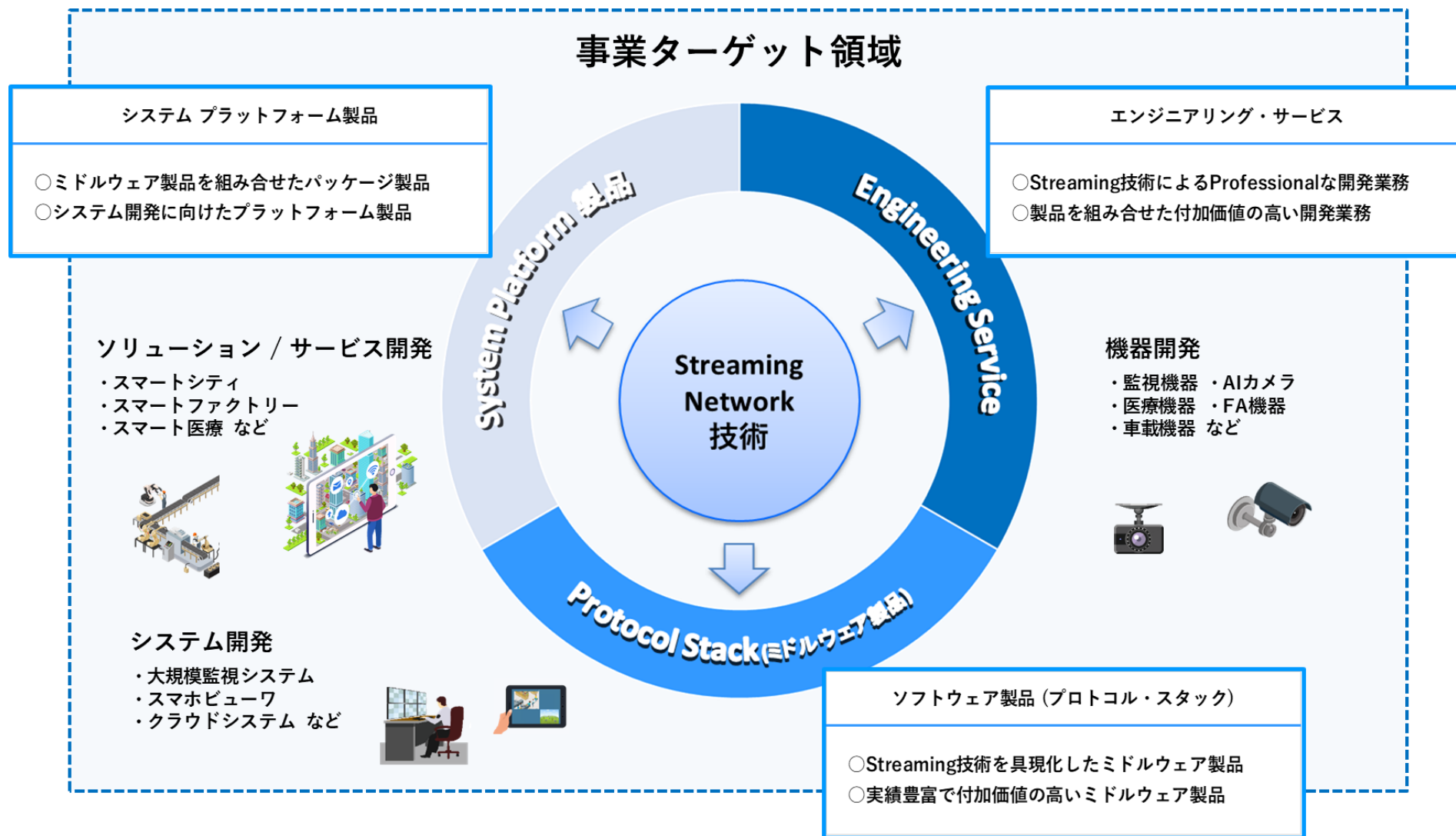


● 沿革

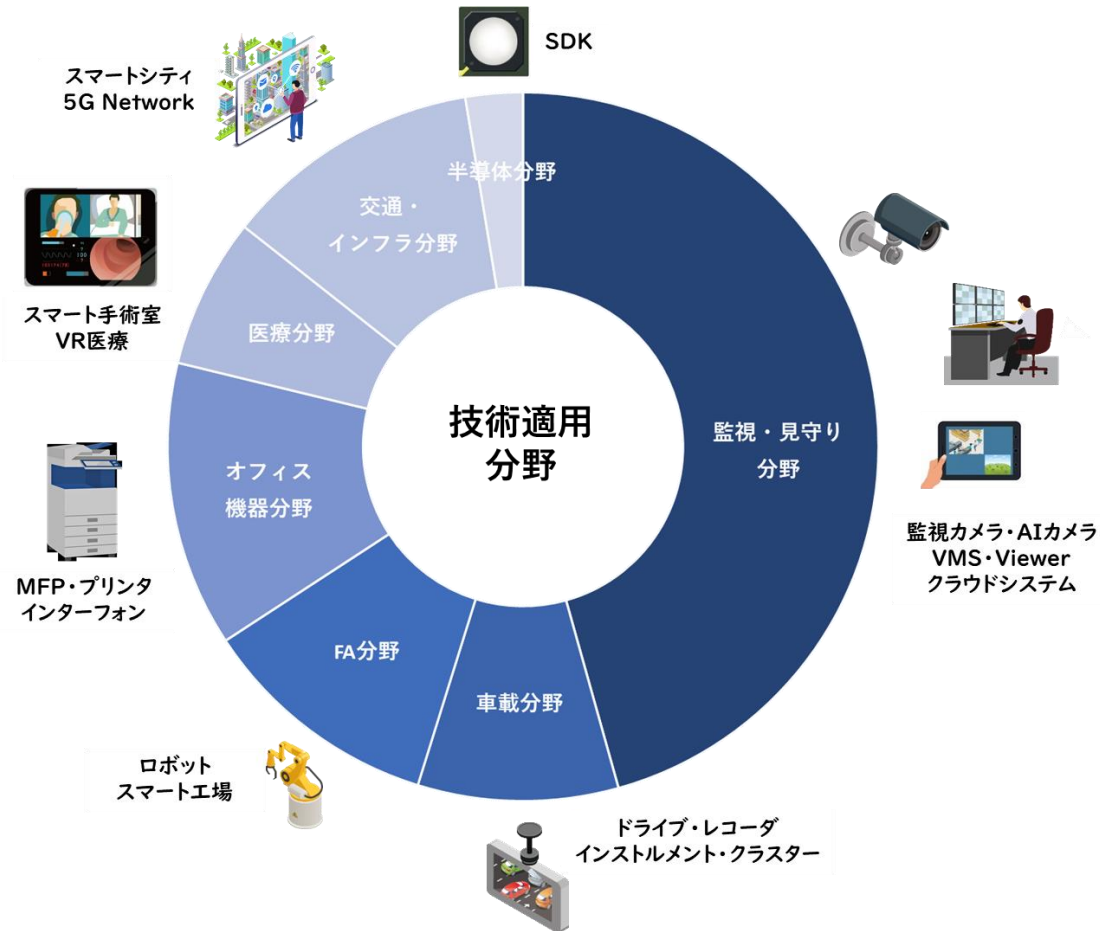
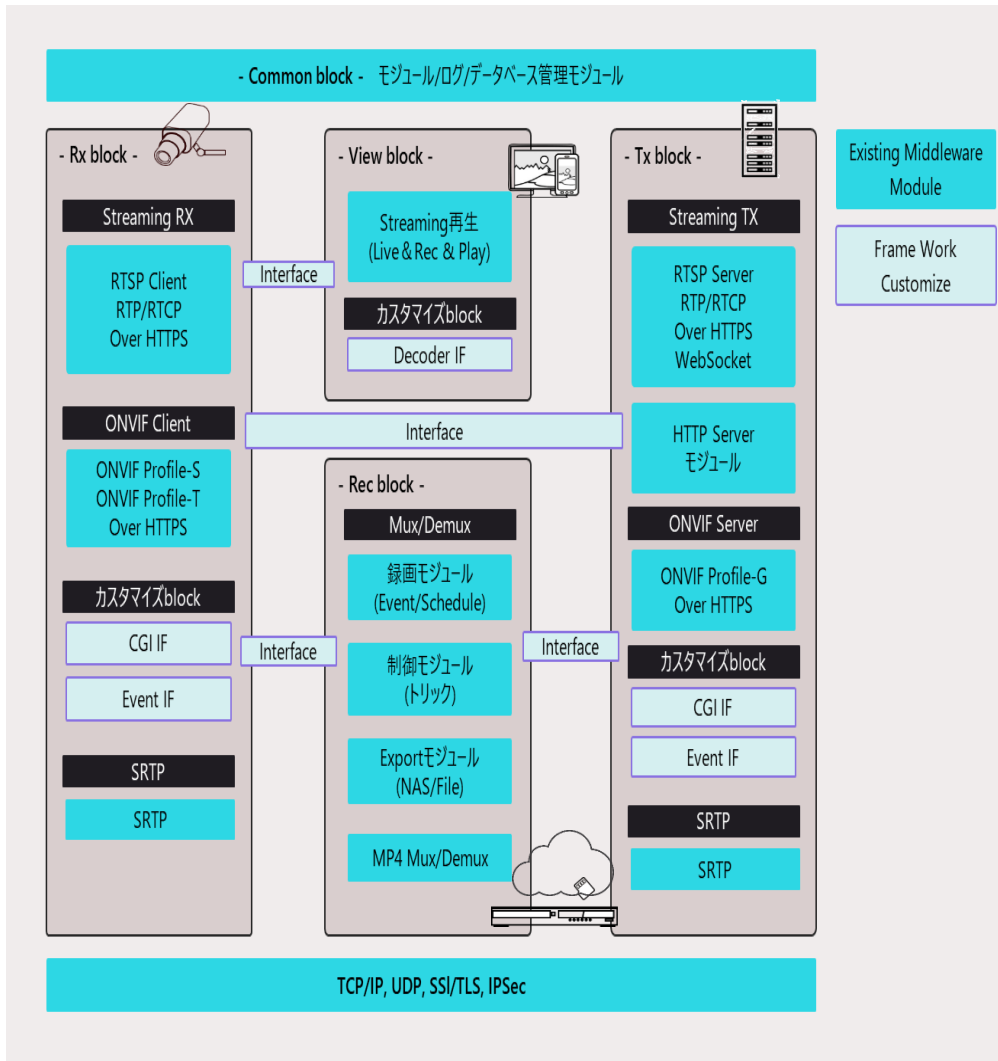
1977	株式会社エルミックシステムを横浜市に設立
1998	組込システム向けIPv4プロトコル・スタック「KASAGO IPv4」販売開始
2000	東証マザーズに上場
2002	組込システム向けIPv6プロトコル・スタック「KASAGO IPv6」販売開始
2005	ウェスコム株式会社と合併し、エルミック・ウェスコム株式会社に
2008	株式会社図研と業務資本提携
2009	株式会社図研よりSoC事業部を会社分割により継承 図研エルミック株式会社へ社名変更 IPセキュリティ向けミドルウェア「Ze-PRO RTP」「Ze-PRO IPcam」 「Ze-PRO IPmon」販売開始
2013	スマートハウス向けミドルウェア「Ze-PRO ECOH Lite」販売開始
2014	東証市場第二部に市場変更 HTTP Streaming, RTMP対応ミドルウェア「Ze-PRO HLS」「Ze-PRO RTMP」 販売開始
2015	ファイル共有プロトコル「KASAGO CIFS」販売開始
2016	FAとIPカメラを融合する、製造業向けソリューション「チョコ停Finder」販売開始 画像/音声の多重化/分離ミドルウェア「Ze-PRO MP4 Mux」「Ze-PRO TS Mux」 「Ze-PRO MP4 Demux」販売開始
2017	創立40周年(4月30日) Multi Platform対応ビューワー開発環境「Ze-PRO SCP」販売開始
2018	ONVIF Profile-T対応ミドルウェア「IPcam-ST」「IPmon-ST」販売開始
2020	セキュアRTPミドルウェア「Ze-PRO SRTP」販売開始 映像連携プラットフォーム「FA Finder」販売開始 Streaming Engineering Serviceの提供を開始
2022	東証スタンダード市場に市場変更 映像連携プラットフォーム「FA Finder AI映像解析オプション」販売開始

Streaming Engineering Service

コアコンピタンスであるStreaming Network技術を、Engineering Service(開発業務)、Streaming製品として提供し、お客様の製品開発に欠かせないパートナーとして、お客様と一体となった開発業務を担っています。



ストリーミングシステムを構成する各機能を、市場実績の豊富な技術資産として保有しています。
 これら技術を核としたEngineering Service(開発業務)およびStreaming製品の提供で、
 早期システム構築・コスト削減・信頼性向上を実現します。










Engineering Service

Streaming Networkに関わる長年の経験、知識、技術資産を活かし、組込ソフト開発やシステム開発、ソリューション開発を、要件定義から設計・実装、各種標準規格の提案、アプリケーション開発、検証環境構築まで幅広くサポートします。



Engineering Service実績

<p>監視 警備</p> 	<ul style="list-style-type: none"> IPカメラ、レコーダ、クラウドシステム開発における競合優位性を重視した要件定義 ストリーミング開発用OSS(Gstreamer)の置換によるIPカメラの遅延改善 標準規格での相互接続性を確保した、クラウドカメラシステム開発 車載用センサーとカメラの連携開発 WiFi / LTE対応を含む、大規模警備システム開発と保守メンテナンス 多品種のIPカメラ接続を実現した大規模VMS開発 多端末接続／遠隔モニタリング用途向け、スマホビューワーアプリ開発 	<p>FA</p> 	<ul style="list-style-type: none"> PLCと連携したカメラ映像取得ユニット開発 次世代ロボット向け、ストリーミング機能の仕様策定および開発 工業用プリンターの通信プロトコル実装 SCADAとカメラ映像の情報連携システム開発
<p>医療</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 手術映像のリアルタイム共有システム開発 高度医療情報の低遅延モニタリングシステム開発 	<p>クラウド</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 監視クラウドシステム開発における競合優位性を重視した要件定義 多品種のIPカメラ接続を実現したクラウド型大規模VMS開発 AWSを利用した特定用途向けWeb会議システム開発
<p>自動車</p> 	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン連携を含む、車載用センターディスプレイ開発 次世代車載通信ネットワークの研究用PoC開発 EV車-EMS間通信システムの開発 	<p>その他 ネットワーク</p> 	<ul style="list-style-type: none"> MFP/プリンタへのTCP/IP、CIFSの実装 制御コントローラ用シミュレータ開発 5Gインフラの基礎開発研究支援 IPネットワーク対応テレビドアホン開発 電力監視システムのコストダウン開発
		<p>半導体</p> 	<ul style="list-style-type: none"> LSI用SDK（ソフトウェア開発キット）開発支援






Protocol Stack (ソフトウェア製品)

Streaming Networkに関わる様々なプロトコルを、実装しやすいミドルウェア ライブラリとして幅広く提供しています。各種プロトコルのカスタマイズやポーティングもサポートします。



プロトコル・スタック(ミドルウェア製品) 抜粋

ONVIF SDK

- Ze-PRO IPcam  
- Ze-PRO IPmon  
- Ze-PRO IPrec 

Streaming SDK

- Ze-PRO RTP / RTSP / SRTP / WebSocket
- Ze-PRO RTMP
- Ze-PRO HTTP Streaming
- Ze-PRO MP4 Mux / Demux / TS Mux

Ethernet Protocol SDK

- KASAGO TCP/IP, UDP
- KASAGO IPv6 (Dual)
- KASAGO IPv4, IPv4 light
- Options (DHCP, FTP, HTTPc, SNMP, SNTP, etc.,)

Security Protocol SDK

- Ze-PRO SRTP
- Ze-PRO SSL/TLS
- KASAGO IPsec / IKEv2

Other Protocol

- Ze-PRO ECHO Lite (ECHONET Lite)
- Ze-PRO DDNS
- Ze-PRO SMTP / POP3
- Ze-PRO SIP
- Ze-PRO HTTPd
- Ze-PRO CIFS

System Platform

Streaming Networkに関する経験とプロトコルスタック製品を元に、映像ストリーミング機器・システム・アプリケーションの開発を強力にサポートする、パッケージ製品およびプラットフォームを提供しています。



システム・プラットフォーム製品例



映像連携プラットフォーム：FA Finder



5G時代の高速・大容量・超低遅延・
同時多数接続システム開発を
ストリーミング技術で支えます。

図研エルミック株式会社

URL: <https://www.elwsc.co.jp> e-mail: info@elwsc.co.jp

〒222-8505 横浜市港北区新横浜3-1-1 図研新横浜ビル2F
Tel : 045-624-8002 / Fax : 045-476-1102

* 記載されている製品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。 * 仕様等は予告なく変更される可能性があります。